

吉田康弘市政報告 Vol.10

新年号

発行/吉田康弘 小矢部市 本町3-50 TEL 67-1227 FAX 54-5564
発行年月/平成31年 1月 Eメール: shojin@bloom.ocn.ne.jp

ごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに新年をお迎えになられたことと、お慶び申し上げます。昨年8月には市議会議員の選挙がありましたが、皆様のご支援のお陰で、無事3期目当選を果たすことができました。改めて皆様に感謝申し上げます。その後、11月には市長選挙があり、引き続き桜井市長と共に緊張感を持って小矢部市政の発展に向け、頑張っていく決意であります。また、新しい議員構成の中で、所属の常任委員会、特別委員会も決まりましたが、10名で組織する会派「誠流」の中では幹事長を引き受けることとなり、身の引き締まる思いで新年を迎えております。



今年は「第7次小矢部市総合計画」の初年度であります。昨年から引き続きの大型事業（大谷・蟹谷統合こども園建設事業、石動駅周辺整備事業として新図書館建設事業、石動コミュニティ建設事業等）が予定されております。公共施設の再編が喫緊の課題としながら、大型建設事業が目白押しであります。「財政の健全化に目を光らせるのは議会、の役目」と、多くの市民から期待が集まっていることから、所属する公共施設再編特別委員会は大きな期待と重い責任を担う委員会となります。議会は定住促進や少子化対策・高齢化対策にも、また中心市街地の活性化や中山間地域の課題にもしっかりと議論を展開していかなければならない、大切な年でもあります。

昨年9月からは、市議会議員として活動を始めて9年目を迎えておりますが、改めて「持続可能な自治体経営」・「地方創生と地域再生」を政策理念に掲げ、力強く議員活動を展開させていただきます。今後共、皆様のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

H30活動記録



総務常任委員会 行政視察 兵庫県三木市



公共施設再編特別委員会 行政視察 京都府舞鶴市



小矢部政経連合会「飯田まちづくりカンパニー」視察



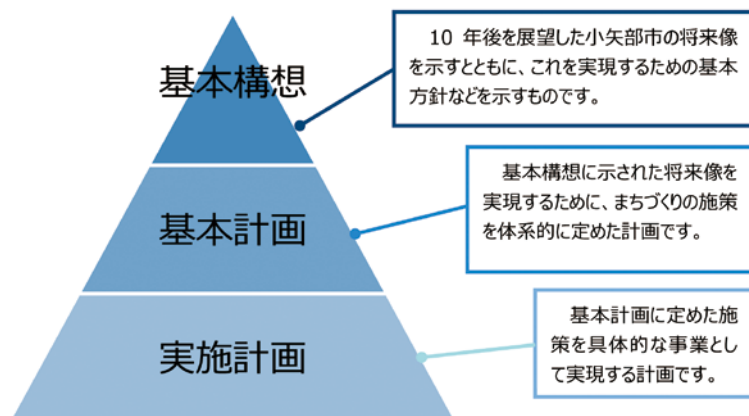
富山県 農村文化賞 受賞報告

第7次小矢部市総合計画 これからの10年計画

総合計画の構成と期間

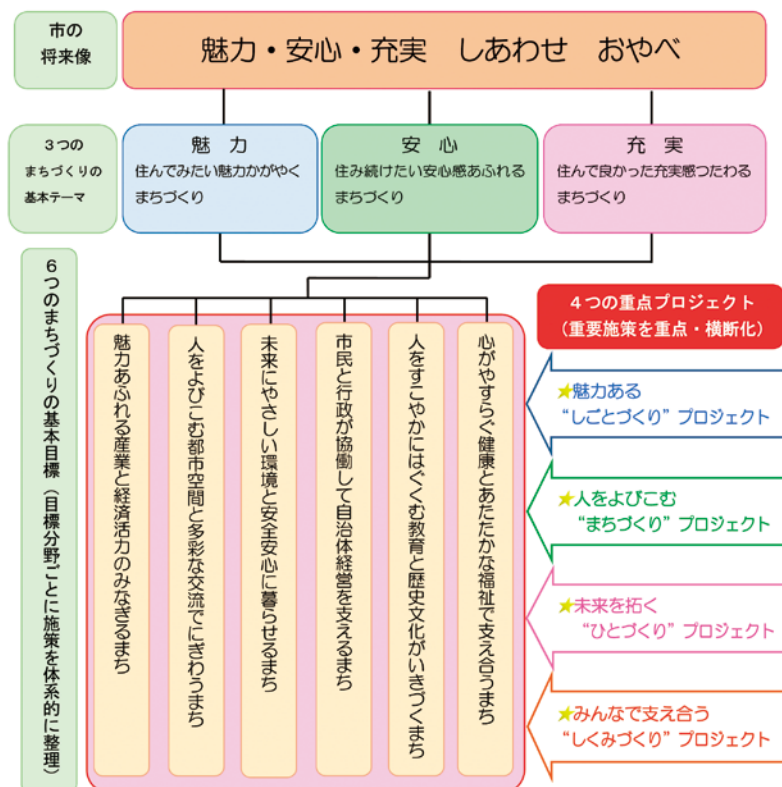
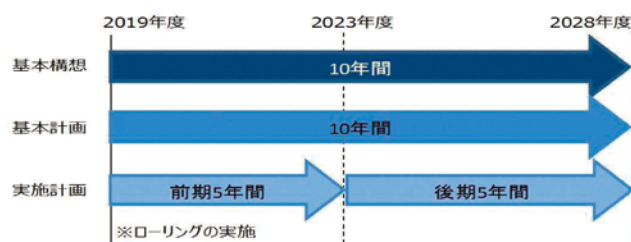
(1) 計画の構成

第7次小矢部市総合計画は、「基本構想」、「基本計画」及び「実施計画」により構成します。



(2) 計画の目標年次

計画の目標年次は、計画期間の最終年度である2028年度とします。



小矢部市を取り巻く環境の変化

① 富山県を上回る人口の減少と少子高齢化

本市の人口は、2015年国勢調査では30,399人で、前回の2010年国勢調査と比べると約2千人減少しており、人口減少率は富山県全体の2.5%を上回る5.2%となっています。また、本市の65歳以上の人口割合は、2015年国勢調査では、3人に1人以上となっており、富山県全体を上回っています。

② 新たな発展の可能性

2015年には北陸新幹線が開通し、市内では大型商業施設が開業しました。さらに今後は、石動駅周辺の整備や東海北陸自動車道の付加車線工事が予定されているなど、本市では交通の要衝に位置する都市として新たな発展の可能性が一層高まっています。

③ 求められる持続可能な行財政基盤の確立

本市の財政状況は、歳入面では人口減少の影響などにより税収が伸び悩む一方、歳出面では少子高齢化に伴う社会保障費の増加や人件費、公債費などにより義務的な経費の割合が高い硬直的な財政構造となっており、今後も厳しい状況が続くと見込まれています。また、道路や橋梁等の生活インフラ、学校などの公共施設は、近い将来には大規模改修や建て替えの時期を一齐に迎えることが予想されています。

1 魅力ある“しごとづくり”プロジェクト

- 地域産業の競争力強化、アウトレットモールや本市の特性を活かした魅力ある産業の創出等による就労人口の増加
- 農林業における担い手の確保及び育成、生産性の向上、6次産業化等による高付加価値化の推進、所得の向上
- 女性に対する起業支援や市内での就労機会の拡大により、就職時の市外への転出を抑制

2 人をよびこむ“まちづくり”プロジェクト

- アウトレットモールを拠点とし、自然景観、祭り、寺院等の地域資源や「義仲・巴」「メルヘン」等のテーマ性を重視した観光ルートの確立等による交流人口の増加
- 中核市や海・山等へ短時間で行くことができる優位性や利便性を活かした、人口流出の抑制、市外からの移住の促進
- 自然環境や歴史的資源を活かす道路・交通ネットワークの充実、“メルヘンの街”をコンセプトとした石動駅周辺整備や中心市街地の活性化による若者や女性にとって魅力あるまちづくり

3 未来を拓く“ひとづくり”プロジェクト

- 若者の出会い・交流の推進、「結婚」「妊娠」「出産」「子育て」までの一貫した支援の強化、近居も含むおやべ型三世代同居モデルの推進
- 確かな学力と豊かな人間力を育む環境の整備により、小矢部市を担う人づくりを推進
- ワーク・ライフ・バランスの実現等により、若者・女性の能力や感性を最大限に活かした経済活動を促進

4 みんなで支え合う“しくみづくり”プロジェクト

- 地域生活の再生やネットワークづくりにより、市民が安心して暮らせる生活環境を整備
- 地域医療体制の充実等、地域包括ケアシステムの推進により、健康寿命を延伸
- とやま呉西圏域都市圏ビジョンに基づく連携事業を推進し、圏域全体の経済成長のけん引や生活関連機能サービスの向上

第7次小矢部市総合計画 前期実施計画(2019年度~2023年)総括表

区 分	事業数	全体事業費 (5か年)	(単位:千円)		計画上期(2019~2021)		計画下期(2022~2023)		事業 構成比
			うち一般財源		(3か年)	うち一般財源	(2か年)	うち一般財源	
<まちづくりの基本目標1> 魅力あふれる産業と経済活力 のみなぎるまち	22	4,677,850	1,210,107		3,367,750	761,249	1,310,100	448,858	19.7%
<まちづくりの基本目標2> 人をよびこむ都市空間と多彩 な交流でにぎわうまち	33	11,626,950	1,203,235		7,115,250	738,711	4,511,700	464,524	48.9%
<まちづくりの基本目標3> 未来にやさしい環境と安全 安心に暮らせるまち	21	770,200	154,375		431,600	87,425	338,600	66,950	3.2%
<まちづくりの基本目標4> 市民と行政が協働して自治体 経営を支えるまち	7	157,700	92,105		82,600	52,743	75,100	39,362	0.7%
<まちづくりの基本目標5> 人をすこやかにはぐくむ教育 と歴史文化がいきづくまち	19	1,854,800	478,954		1,465,000	317,736	389,800	161,218	7.8%
<まちづくりの基本目標6> 心がやすらぐ健康とあたたか な福祉で支え合うまち	25	4,697,400	1,810,932		3,654,800	1,147,002	1,042,600	663,930	19.7%
合 計	127	23,784,900	4,949,708		16,117,000	3,104,866	7,667,900	1,844,842	100.0%

(注)構成比は、四捨五入の関係で、積み上げと合計が一致しない場合がある。

■前期実施計画事業の主なもの

前期実施計画事業のうち特色ある主な事業について、まちづくりの基本目標ごとに示します。
(事業費は5年間の総額です。)

■前期実施計画の特色

○人口減少対策

引き続き、移住・定住の促進を図るため、各種助成制度を見直すとともに、結婚支援の推進や妊娠・出産・子育て支援の充実に取り組みます。また、企業誘致の推進を図りながら、魅力あるしごとづくりに努めます。

○持続可能な自治体経営の確立

将来の人口規模にあった公共施設等保有量への転換を図るため、公共施設再編計画に基づき、統合・複合化により生じる不要施設の解体や既存施設の長寿命化対策に取り組みます。

○都市機能の再構築

新図書館の整備を始めとした石動駅周辺の整備を継続して進めるとともに、新たに「(仮称)石動コミュニティプラザ」を整備します。また、津沢地区のまちなか活性化拠点として、「津沢あんどんふれあい会館」を整備します。

○中心市街地の活性化

引き続き、空き店舗等の有効活用を促進を図りながら、大型商業施設との連携による賑わい創出と市内周遊の促進を図るとともに、商工会により新たに整備される商店街活性化拠点施設(駅前商工会ビル)の運営を支援します。また、民間資本活用による石動駅北地区の整備促進や中心市街地の活性化を目指し、基本計画の策定に取り組みます。

<まちづくりの基本目標1>

魅力あふれる産業と
経済活力のみなぎるまち

(22事業 46億7,785万円)

主な事業

- ・有害鳥獣捕獲対策事業・・・2,000万円
- ・畜産振興事業・・・5億1,000万円
- ・競争力強化生産対策事業・・・8億6,000万円
- ・買い物支援事業・・・1,450万円
- ・商工業振興対策事業・・・1億5,000万円
- ・石動駅北地区整備事業・・・2,280万円
- ・企業立地対策事業・・・1億6,100万円

<まちづくりの基本目標2>

人をよびこむ都市空間と
多彩な交流でにぎわうまち

(33事業 116億2,695万円)

主な事業

- ・石動駅周辺整備事業・・・1億6,600万円
- ・県営街路事業・・・2億8,850万円
- ・市営街路事業・・・5億5,000万円
- ・橋梁整備事業・・・2億8,500万円
- ・第3次拡張事業(上水道)・・・9億9,400万円
- ・公共下水道施設整備事業・・・54億570万円
- ・並行在来線対策事業・・・1億4,820万円
- ・津沢まちづくり推進事業・・・1億400万円
- ・定住促進対策事業・・・2億5,770万円

<まちづくりの基本目標3>

未来にやさしい環境と
安全安心に暮らせるまち

(21事業 7億7,020万円)

主な事業

- ・森林環境整備事業・・・2,950万円
- ・消雪工施設整備事業(消雪リフレッシュ)・・・1億7,000万円
- ・ごみ減量化及び再生利用推進事業・・・2,750万円
- ・自主防災組織育成・強化事業・・・330万円
- ・本庁舎耐震化事業・・・4,000万円
- ・消防器具置場修繕事業・・・2,000万円
- ・生活安全対策事業・・・500万円

<まちづくりの基本目標4>

市民と行政が協働して
自治体経営を支えるまち

(7事業 1億5,770万円)

主な事業

- ・おやべ型1%まちづくり事業・・・7,700万円
- ・コミュニティづくり推進事業・・・2,500万円
- ・男女共同参画推進事業・・・980万円
- ・津沢倉庫解体事業・・・300万円
- ・旧保育所解体事業・・・4,000万円

<まちづくりの基本目標5>

人をすこやかにはぐくむ教育と
歴史文化がいきづくまち

(19事業 18億5,480万円)

主な事業

- ・英語教育推進事業・・・1億3,250万円
- ・部活動指導員配置事業・・・2,370万円
- ・小中学校長寿命化計画策定事業・・・500万円
- ・(仮称)石動コミュニティプラザ整備事業・・・10億200万円
- ・公民館施設整備事業・・・1億140万円
- ・体育施設改修事業(ホッケー場)・・・1億3,000万円
- ・体育施設改修事業・・・1億5,400万円
- ・クロスランドセンター改修事業・・・5,800万円

<まちづくりの基本目標6>

心がやすらぐ健康と
あたたかな福祉で支え合うまち

(25事業 46億9,740万円)

主な事業

- ・地域医療体制整備事業・・・3億8,500万円
- ・がん検診・健康診査事業・・・2億2,500万円
- ・生活困窮者自立支援事業・・・3,980万円
- ・総合保健福祉センター改修事業・・・1億700万円
- ・不妊治療費及び不育症治療費助成事業・・・3,000万円
- ・妊娠・出産包括支援事業・・・9,900万円
- ・子育て支援保育等推進事業・・・3,910万円
- ・子ども及び妊産婦医療費助成事業・・・4億7,700万円
- ・私立石動青葉保育園移転新築支援事業・・・2億5,910万円
- ・統合子ども園整備事業・・・15億6,800万円
- ・地域見守り体制確保事業・・・200万円



石動駅南北自由通路

平成29年度 小矢部市一般会計、特別会計、歳入歳出決算

各会計別決算状況調

(単位：千円)

区 分	一般会計	公共用地会計	国保会計	後期高齢会計	下水道会計	農業集排会計	東部産業会計	計	純 計	水道会計
1 歳 入	15,193,879	8,146	3,401,673	868,527	2,408,034	173,067	126,200	22,179,526	20,639,690	866,057
うち他会計繰入金等	285		132,899	522,603	754,254	129,795		1,539,836		101,409
2 歳 出	14,940,812	7,964	3,258,599	867,669	2,408,034	173,067	126,200	21,782,345	20,242,509	964,086
3 差 引 額 (1-2)	253,067	182	143,074	858	0	0	0	397,181	397,181	△98,029
4 翌年度へ繰り越すべき財源	38,047							38,047	38,047	
5 実 質 収 支 額 (3-4)	215,020	182	143,074	858	0	0	0	359,134	359,134	△98,029
1 年度末地方債未償還高	14,313,445				12,981,764	966,593		28,261,802		1,849,591
2 年度末債務負担未償還高	3,384,250							3,384,250		
合 計	17,697,695				12,981,764	966,593		31,646,052		1,849,591
1 年度末財政調整基金残高	804,149		137,448		68,607	23		1,010,227		
うち当年度財調基金増減額	△54,303		△18,272		2,993			△69,582		
2 年度末減債基金残高	45,478							45,478		
3 未処分利益残高										171,989
合 計	849,627		137,448		68,607	23		1,055,705		171,989

歳入の内訳 (一般会計)

(単位：千円)

区 分	平成 29 年 度 決 算 額			
	総 額	一般財源	特定財源	構成比
1 市 税	4,710,856	4,710,856		31.0%
2 地 方 譲 与 税	183,125	183,125		1.2%
3 利 子 割 交 付 金	8,448	8,448		0.1%
4 配 当 割 交 付 金	20,131	20,131		0.1%
5 株式等譲渡所得割交付金	20,337	20,337		0.1%
6 地方消費税交付金	559,216	559,216		3.7%
7 ゴルフ場利用税交付金	33,284	33,284		0.2%
8 自動車取得税交付金	52,887	52,887		0.3%
9 地方特例交付金	10,883	10,883		0.1%
10 地 方 交 付 金	3,359,141	3,359,141		22.1%
11 交通安全対策特別交付金	4,743	4,743		0.1%
12 分担金及び負担金	117,153	0	117,153	0.8%
13 使用料及び手数料	179,175	11,015	168,160	1.2%
14 国 庫 支 出 金	1,731,682	0	1,731,682	11.4%
15 県 支 出 金	988,311	787	987,524	6.5%
16 財 産 収 入	100,567	2,769	97,798	0.7%
17 寄 附 金	44,834	0	44,834	0.3%
18 繰 入 金	324,618	295,075	29,543	2.1%
19 繰 越 金	442,940	429,585	13,355	2.9%
20 諸 収 入	828,048	33,086	794,962	5.4%
21 市 債	1,473,500	487,700	985,800	9.7%
歳 入 合 計	15,193,879	10,223,068	4,970,811	100.0%

目的別歳出の内訳 (一般会計)

(単位：千円)

区 分		平成 29 年 度 決 算 額			
		総 額	一般財源	特定財源	構成比
1	議 会 費	178,421	178,421	0	1.3%
2	総 務 費	1,795,848	1,497,424	298,424	12.0%
3	民 生 費	3,722,199	1,762,320	1,959,879	24.9%
4	衛 生 費	1,518,324	1,429,274	89,050	10.2%
5	労 働 費	22,301	701	21,600	0.1%
6	農 林 水 産 業 費	1,010,644	471,989	538,655	6.8%
7	商 工 費	769,332	277,258	492,074	5.1%
8	土 木 費	2,315,319	1,404,425	910,894	15.5%
9	消 防 費	552,573	509,452	43,121	3.7%
10	教 育 費	1,711,535	1,128,293	583,242	11.5%
11	災 害 復 旧 費	21,287	20,359	928	0.1%
12	公 債 費	1,323,029	1,290,085	32,944	8.9%
13	予 備 費	0	0	0	0.0%
歳 出 合 計		14,940,812	9,970,001	4,970,811	100.0%

平成29年度 地方債現在高調書 (各会計別)

(単位：千円)

会 計 名	平成28年度 未現在高	平成29年度元利償還額			平成29年度 借入額	平成29年度 未現在高
		元金	利子	計		
一 般 会 計	14,052,140	1,212,195	109,043	1,321,238	1,473,500	14,313,445
下水道事業 特 別 会 計	13,098,098	940,334	213,343	1,153,677	824,000	12,981,764
農業集落排水 事業特別会計	1,060,540	98,747	24,107	122,854	4,800	966,593
小 計	28,210,778	2,251,276	346,493	2,597,769	2,302,300	28,261,802
水 道 事 業 会 計	1,844,969	135,378	28,193	163,571	140,000	1,849,591
合 計	30,055,747	2,386,654	374,686	2,761,340	2,442,300	30,111,393

健全化判断比率

	平成29年度決算	早期健全化基準	財政再生基準
実 質 赤 字 比 率	(注)	13.67%	20%
連結実質赤字比率	(注)	18.67%	30%
実 質 公 債 費 比 率	15.1%	25%	35%
将 来 負 担 比 率	165.2%	350%	

(注) 実質赤字比率、連結実質赤字比率については、実質赤字額、連結実質赤字額がない場合は「-」表示される。

まとめ (監査委員による審査意見)

健全化判断比率及び資金不足比率は、いずれも早期健全化基準及び経営健全化基準20%を下回り、健全な状態であると言える。

実質公債費比率は、平成29年度から石動小学校校舎改築事業等の元金償還が開始したこと等により、平成28年度から0.4ポイント上昇したが早期健全化基準以下である。今後も、石動駅周辺整備事業の本格的な償還開始、統合こども園整備や(仮称)石動コミュニティプラザ整備に係る借入により、当該比率が増加することが見込まれることから、事業費の抑制をはじめ、普通地方交付税で措置される地方債の借入を優先する等の対策を継続する必要がある。

将来負担比率は、本年度に地方債の繰上償還を行ったものの、大型事業に係る新発債の増による地方債残高増により、平成28年度から8.0ポイント上昇したが早期健全化基準以下である。将来負担比率は実質公債費比率と相反する関係にあることから、今後予定されている大型事業への地方債の借入を含め、地方債の借入・償還計画を見直すことを要するものである。

今後は、新たに策定される第7次小矢部市総合計画に基づくまちづくりを推進されるにあたり、次期小矢部市行財政改革大綱に基づく改革の着実な実行により、実質公債費比率の上昇を極力抑え、市政の安定的な運営が継続されることを要望したい。

また、財政健全化法の趣旨から、本市の算定結果を議会はもとより、市民に分かりやすく十分に説明する工夫に尽力いただきたい。

お知らせ

8年前から、市議会議員として下記の場所に事務所を開設致しております。市議会議員としての活動拠点として届出を済ませています。皆様のお越しをお待ち申し上げておりますので、気軽に立ち寄って下さい。

● 吉田康弘 市議会議員事務所

〒932-0057
小矢部市本町3-50 庄甚ビル2F
TEL 0766-67-1227
FAX 0766-54-5564
携帯 090-3155-3267
E-mail:shojin@bloom.ocn.ne.jp
HP:http://yoshida-yasuhiro.net/



9月定例会において委員会所属が変更になりました

議会内所属委員会

民生文教常任委員会 委員
公共施設再編特別委員会 委員長
議会運営委員会 委員

議会選出委員等

砺波地方衛生施設組合議会 議員
砺波地方介護保険組合議会 議員
小矢部市公害対策審議会 会長
小矢部市都市計画審議会 委員
小矢部市土地開発公社 理事
公益財団法人クロスランドおやべ 理事

議会内会派 「誠 流」 幹事長